

質問事項に関する回答書

(件名)磐越自動車道 龍ヶ嶽トンネル工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	6月25日	金抜き設計書	B-5頁		番号49 コンクリート T3-4(D I -b)の数量について、5月17日訂正資料では「5,521m ³ 」ですが、6月21日訂正資料では「5,519m ³ 」に変更されており、公告時の数量に戻っています。どちらの数量で計上すればよろしいでしょうか。	金抜設計書番号49「コンクリート T3-4(D I -b)」について、R6.6.21当社HP掲載の訂正公告3の数量に誤りがありました。同項目は、R6.5.17当社HP掲載の訂正公告2の数量(5,521m ³)が正となります。上記については、後日、交付図書を訂正いたします。
2	6月25日	金抜き設計書	B-6頁		番号68 鉄筋Aの数量について、5月17日訂正資料では「126.96t」ですが、6月21日訂正資料では「127.06t」に変更されており、公告時の数量に戻っています。どちらの数量で計上すればよろしいでしょうか。	金抜設計書番号68「鉄筋 A」について、R6.6.21当社HP掲載の訂正公告3の数量に誤りがありました。同項目は、R6.5.17当社HP掲載の訂正公告2の数量(126.96t)が正となります。上記については、後日、交付図書を訂正いたします。
3	6月25日	特記仕様書 24-37 調査ボーリング工	66頁		先進ボーリングの設計数量はオールコアの数量と思われませんが、ノンコアの数量(20m/回×36回=720m)については、先進ボーリングA~Iどのように配分しているのでしょうか。具体的な数量についてご教示ください。	特記仕様書24-37(5)及び設計図(龍ヶ嶽トンネル編)11/191を参考に、貴社の施工計画に基づきお考えください。
4	6月25日	金抜き設計書	B-5頁		番号96 吹付けコンクリートA(t=20cm) DⅢa-Aはインバートの吹付と思われませんが、これについて(貸与品)ア)磐越自動車道黒森山トンネル詳細設計-REPORT0X 積算数量表 P2-1-23 サイクルタイムを確認したところ、全体サイクルタイム X4=413分で計上されています。これは全断面と同じ値を使用しているため、コンクリート吹付機やアジテータトラックの供用日損料がダブル計上になると考えられます。コンクリート吹付機やアジテータトラックの供用日損料は、金抜き設計書 番号97 吹付けコンクリートA(t=23cm) DⅢa-Aで計上し、番号96 吹付けコンクリートA(t=20cm) DⅢa-Aでは計上しないとの理解でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。